

令和元年度 九州看護福祉大学

授業評価アンケート結果 報告書



九州看護福祉大学
自己点検・自己評価委員会

～目次～

1. 令和元年度授業評価アンケートの概要	1
2. 授業評価アンケート結果	3
3. 授業に関する自己点検・自己評価	5
4. 「個人報告書における改善計画」（個人報告書から一部を抜粋）	7
5. 謝辞	8

1. 令和元年度 授業評価アンケートの概要

1) 実施の目的と方法

令和元年度授業評価アンケートは、自己点検・自己評価委員会が作成し、授業に対する学生の評価、意見を聴取し、その結果を授業内容にフィードバックし、教育方法の改善を図ることを目的として実施された。評価対象科目は、卒業・研究論文、演習科目、実習科目、履修登録者数が10人未満の科目を除く令和元年度の開講科目とした。

アンケート調査は、表1の7つの分野について行われた。

表1. アンケート調査の7分野

内容
1. あなたの授業態度について
2. 授業内容について
3. 教員の教え方について
4. 教員の姿勢について
5. 総合評価について
6. 担当教員のオリジナル設問
7. 自由記入

アンケート調査は、学生が所有する携帯電話のメール機能を用いて行われた。調査は、科目担当教員が、学生の成績評価には影響しないことを説明したうえで、無記名で実施された。実施時期は、第1学期が令和元年7月12日（金）から7月25日（木）までの間、第2学期が令和2年1月6日（月）から1月21日（火）までの間とした。

調査票の概要は表2の通りである。

表 2. 調査票の概要

【A. 設問内容】
1. この授業の予習・復習の時間は、どれくらいですか。
2. この授業の内容をきちんとノートにとりましたか。
3. この授業に臨んだあなたの授業態度は、よかったと思いますか。
4. あなたの私語で、他の学生に迷惑をかけたと思いますか。
5. あなたの途中の入退出で、他の学生に迷惑をかけたか。
6. この授業に興味・関心がもてましたか。
7. この授業をよく理解できましたか。
8. この授業は、あなたにとって有益（効果的）でしたか。
9. この授業は、目標が明確で体系的に行われていましたか。
10. この授業に集中できる雰囲気が保たれていましたか。
11. 教員の声や言葉は、明確で聞き取りやすかったですか。
12. 教員の教材（教科書、視聴覚教材、配布プリント）の使い方は、適切でしたか。
13. 教員は、質疑応答の機会を適切に作っていましたか。
14. 教員は、授業時間をよく守っていましたか。
15. 教員は、この授業に熱意をもって臨んでいましたか。
16. 教員は、学生の理解度が高まるように工夫して授業を行いましたか。
17. 教員は、私語や途中の入退出に対して適切に対処しましたか。
18. 総合的に判断して、この授業に満足しましたか。
19. 担当教員のオリジナル設問 1
20. 担当教員のオリジナル設問 2
21. 自由記入欄
【B. 回答方法】
設問 1 : ①3 時間以上、②2.5 時間、③2 時間、④1 時間、⑤30 分未満、の 5 つの選択肢から一つだけを選択。
設問 2～20 : ①全くそう思う、②そう思う、③どちらともいえない ④そう思わない、⑤まったくそう思わない、の 5 つの選択肢から一つだけを選択。
設問 21 : 自由記入

2) 分析方法

各質問項目の選択肢には、表 3 のようなスコアを設定した。

表 3. 選択肢のスコアリング法

設問 2、3、6～18	設問 1	スコア
① まったくそう思う	① 3 時間以上	5
② そう思う	② 2.5 時間	4
③ どちらともいえない	③ 2 時間	3
④ そう思わない	④ 1 時間	2
⑤ まったくそう思わない	⑤ 30 分未満	1

設問 4、5	スコア
① まったくそう思う	1
② そう思う	2
③ どちらともいえない	3
④ そう思わない	4
⑤ まったくそう思わない	5

設問 19 と 20 は任意の設問のため、全体の集計からは除外した。また、設問 21 は、自由記入であり数値としての処理が困難なため、同様に全体の集計からは除外した。データは学科、学年ごと及び学部全体で集計した。「2. 授業評価アンケート結果」の各表内の数値は、すべて小数点第 1 位までの平均値で表記した。

2. 授業評価アンケート結果

1) 実施状況

授業評価アンケートの実施状況は、表 4、5 の通りである。

表 4. 授業評価アンケートの実施状況（第 1 学期）

学科	実施 科目数	実施科目の履修 登録者数(人)	回答者数 (人)	回答率(回答者数/実施 科目の登録者数、%)
看護学科科目	32	2348	2005	85.4
社会福祉学科科目	38	1110	843	75.9
リハビリテーション学科科目	29	1347	1166	86.6
鍼灸スポーツ学科科目	16	420	363	86.4
口腔保健学科科目	32	569	428	75.2
学部全体	147	5794	4805	82.9

表 5. 授業評価アンケートの実施状況(第 2 学期)

学科	実施 科目数	実施科目の履修 登録者数(人)	回答者数 (人)	回答率(回答者数/実施 科目の登録者数、%)
看護学科科目	31	1094	847	77.4
社会福祉学科科目	34	377	288	76.4
リハビリテーション学科科目	14	816	704	86.3
鍼灸スポーツ学科科目	20	370	263	71.1
口腔保健学科科目	19	515	441	85.6
学部全体	118	3172	2543	80.2

2) アンケート結果

アンケートの結果は、表 6 から 7 の通りである。

表 6. 学部、学科別のアンケート結果(第 2 学期分)

※リハビリ：リハビリテーション

番号	設問内容	学部全体	看護	社会福祉	※リハビリ	鍼灸スポーツ	口腔保健
1	この授業の予習・復習の時間は、どれくらいですか。	1.6	1.6	1.5	1.8	1.6	1.6
2	この授業の内容をきちんとノートにとりましたか。	4.1	4.2	4.1	4.0	3.9	4.2
3	あなたの授業態度は、よかったですか。	4.1	4.2	4.0	4.1	3.9	4.2
4	私語で、他の学生に迷惑をかけたと思いますか。	4.6	4.3	4.3	4.2	4.4	4.6
5	途中の入退出で、他の学生に迷惑をかけましたか。	4.1	4.1	4.5	3.9	4.1	4.1
6	この授業に興味・関心がもてましたか。	4.1	4.1	4.1	4.2	3.9	4.2
7	この授業をよく理解できましたか。	3.9	3.9	3.8	3.9	3.7	4.0
8	この授業は、あなたにとって有益(効果的)でしたか。	4.2	4.2	4.2	4.2	4.0	4.3
9	授業は、目標が明確で体系的に行われていましたか。	4.2	4.2	4.2	4.2	4.0	4.3
10	この授業に集中できる雰囲気が保たれていましたか。	4.2	4.2	4.2	4.1	4.0	4.2
11	教員の声や言葉は、明確で聞き取りやすかったか。	4.2	4.2	4.2	4.1	4.1	4.2
12	教員の教材の使い方は、適切でしたか。	4.2	4.2	4.2	4.2	4.0	4.3
13	教員は、質疑応答の機会を適切に作っていましたか。	4.1	4.1	4.0	4.1	4.0	4.1
14	教員は、授業時間をよく守っていましたか。	4.4	4.4	4.4	4.4	4.3	4.5
15	教員は、この授業に熱意をもって臨んでいましたか。	4.4	4.4	4.4	4.3	4.2	4.4
16	授業は理解度が高まるように工夫されていましたか。	4.2	4.2	4.2	4.2	4.1	4.3
17	教員は、私語などに対して適切に対処しましたか。	4.1	4.1	4.1	4.1	3.9	4.1
18	総合的に判断して、この授業に満足しましたか。	4.2	4.2	4.2	4.2	4.1	4.3

表 7. 学年別のアンケート結果(第 2 学期分)

番号	設問内容	1年	2年	3年	4年
1	この授業の予習・復習の時間は、どれくらいですか。	1.6	1.6	1.6	1.7
2	この授業の内容をきちんとノートにとりましたか。	4.1	4.2	4.1	4.1
3	あなたの授業態度は、よかったですか。	4.1	4.2	4.1	4.1
4	私語で、他の学生に迷惑をかけたと思いますか。	4.4	4.4	4.4	4.5
5	途中の入退出で、他の学生に迷惑をかけましたか。	4.7	4.5	4.5	4.5
6	この授業に興味・関心がもてましたか。	4.0	4.2	3.9	4.1
7	この授業をよく理解できましたか。	3.8	4.0	3.7	3.8
8	この授業は、あなたにとって有益(効果的)でしたか。	4.2	4.3	4.1	4.3
9	この授業は、目標が明確で体系的に行われていましたか。	4.1	4.3	4.1	4.3
10	この授業に集中できる雰囲気が保たれていましたか。	4.1	4.3	4.1	4.3
11	教員の声や言葉は、明確で聞き取りやすかったですか。	4.0	4.3	4.1	4.4
12	教員の教材の使い方は、適切でしたか。	4.1	4.3	4.1	4.3
13	教員は、質疑応答の機会を適切に作っていましたか。	3.9	4.2	4.1	4.2
14	教員は、授業時間をよく守っていましたか。	4.4	4.5	4.4	4.6
15	教員は、この授業に熱意をもって臨んでいましたか。	4.3	4.5	4.3	4.5
16	授業は理解度が高まるように工夫されていましたか。	4.1	4.3	4.1	4.3
17	教員は、私語などに対して適切に対処しましたか。	4.0	4.2	4.1	4.1
18	総合的に判断して、この授業に満足しましたか。	4.1	4.3	4.1	4.3

注) 令和元年度第 1 学期授業評価アンケート結果は、アンケート終了後、各自が結果を確認し個人報告書を作成した。しかしその後、第 1 学期授業評価アンケート結果全体のデータ保存処理の際、トラブルが生じたため、当該学期の集計作業が困難となり解析作業は行わなかった。

3. 授業に関する自己点検・自己評価

1) 「授業に関する個人報告書」について

科目責任者は、授業評価アンケートの結果に基づき、授業科目ごとに「授業に関する個人報告書」(以下、「個人報告書」)を作成して、所定の期日までに総務課に提出し、同報告書は総務課で一括して保管されている。

科目責任者は、この「個人報告書」に基づいて授業改善の方策を立案し、それぞれ改善策を講じている。「個人報告書」の概要は表 8 の通りで、分量は A4 版で数ページである。

表 8. 「授業に関する個人報告書」の概要

令和 年度 第 学期 授業に関する個人報告書
A. 概要
1. 報告者氏名：
2. 授業評価実施日
3. 科 目 名
4. 学 科 名
5. 登 録 学 生 数
6. 科 目 責 任 者 名
B. 自己点検・自己評価（400 字以内）
C. 改善課題（200 字以内）
D. 改善計画（200 字以内）

2) 「個人報告書」の提出状況について

「個人報告書」の提出状況は、表 9、10 の通りである。

表 9. 「個人報告書」の提出状況（第 1 学期分）

学科	対象科目数	提出科目数	提出率 (%)
看護学科科目	32	20	77.4
社会福祉学科科目	38	24	52.9
リハビリテーション学科科目	29	18	64.3
鍼灸スポーツ学科科目	16	11	60.0
口腔保健学科科目	32	20	73.7
学部全体	147	77	65.3

表 10. 「個人報告書」の提出状況（第 2 学期分）

学科	対象科目数	提出科目数	提出率 (%)
看護学科科目	31	24	62.5
社会福祉学科科目	34	18	63.2
リハビリテーション学科科目	14	9	62.1
鍼灸スポーツ学科科目	20	12	68.8
口腔保健学科科目	19	14	62.5
学部全体	118	93	63.3

4. 「個人報告書における改善計画」（個人報告書から一部を抜粋）

「令和元年度第1学期授業に関する個人報告書」には、授業に関する改善課題と改善計画の項目があり、各教員は次期の授業に向け学修指導の改善の方法を記載している。これらは次年度のシラバス作成、教科書選択、学生の理解に即した授業進行速度などに利用されており、自らの教育内容に効果的なフィードバックとなっている。令和元年度の個人報告書には、授業の改善計画として次のような記載があった（表 11、12）。

表 11. 【第1学期個人報告書からの抜粋】

NO	改善課題と改善計画
1	基礎学力が低下しており、改善のため大学全体での取り組みが必要
2	アクティブラーニングの技法をもっと取り入れたい
3	教材のペーパーレス化を推進しているが、不慣れな学生がいるようなので対策を検討したい
4	声が聞き取りにくかったため、マイクの使い方を工夫する
5	複数学科の学生が受講しており、学生間で学修意欲や態度に差があり、指導に難渋しており改善していきたい
6	オフィスアワーなどの授業時間以外を活用し、授業内容の理解を深める指導をしたい
7	グループワークの際、ふざけあうなど稚拙な行動がみられるため、改善していきたい
8	授業中にスマートフォンを操作している学生が、一部にみられるため、授業に集中するよう注意していきたい
9	入学者の学力低下が著しく、入試制度の再考が必要な時期に来ている
10	学修指導だけでなく、タイムマネジメントや自己管理などの生活指導が必要
11	板書の字が分かりにくいとの指摘があり、改善したい
12	1限目の授業の遅刻者が多く、改善を促したい
13	予習・復習の時間が不足しており、徹底させたい
14	学修のモチベーションを高めるための工夫が必要
15	症例検討、グループワークを継続したい

表 12. 【第 2 学期個人報告書からの抜粋】

NO	改善課題と改善計画
1	予習時間が不足しており、改善を促す。
2	履修学生数に対して、教員数が不足しており、見直しが必要
3	学生の出欠状況を早期に把握し、欠席の多い学生には、早めの指導を行う
4	オムニバス方式の授業で、教員間の連絡と意思統一が不十分であり、改善を図りたい
5	専門科目の基礎となる、数学・生物学・物理学等の基礎知識が不足している
6	動画等を取り入れ、視覚的にも理解しやすい授業内容とする
7	パワーポイントの資料を分かりやすいものにする
8	遅刻、私語、入退室のルールについて明確化する
9	確認テスト等を行い、学生の理解度を確かめながら授業運用を行う
10	専門用語の確実な理解を促す
11	課題提出後のフィードバックを丁寧に行う
12	暗記だけではなく、考える姿勢を身に着ける授業を行いたい
13	一方通行の授業とならないよう、学生の反応を確かめながら実施したい
14	レポート課題の提出者が少なく、課題内容を再考したい
15	ケーススタディやグループディスカッションをもっと取り入れたい

5. 謝辞

令和元年度第 1 学期、第 2 学期の授業評価アンケート実施において、ご協力いただいた本学学生の皆様に深謝申し上げます。

令和元年度 九州看護福祉大学授業評価アンケート結果報告書

発行日：令和 3 年 3 月 2 2 日

発行者：九州看護福祉大学 自己点検・自己評価委員会

〒865-0062 熊本県玉名市富尾 888 番地

TEL：0968-75-1800